

京都大学 Microsoft包括ライセンス 公費用Microsoft365 申請書

申請日 _____

下記、ライセンス利用規約を遵守し、裏面に記載された使用許諾事項および製品毎の留意事項の内容を理解して使用することを承諾し、以下の申し込みを行います。

■ ライセンス管理者

ライセンス管理者に対し、サブスクリプション終了時に更新通知のメールをお送りします。更新実務を担当される方をご登録ください。

メールアドレス _____

所属 _____

電話番号（学内内線可） _____

■ ライセンス使用者

ライセンスを実際に利用するユーザーです。ライセンス管理者と同一である場合は、入力不要です。アカウント作成時の通知メールをお送りします。

メールアドレス _____

利用開始日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

料金算出の起算日となる日付です。手続きの関係上、上記日程を前後してアカウントを作成しますが、アカウント作成完了の通知メールを受け取った時点で、ライセンスは利用可能です。

利用期間 _____

利用製品

製品名	言語	数量
公費利用用 Microsoft365 A3	インストール時に選択可	1

希望のアカウント名

_____ @kyotounivcoop.onmicrosoft.com

具体的なユーザーが想起できる文字列で作成してください。個人を特定できない文字列では、変更をお願いする場合があります。（例：「staff@」や「secretary@」では作成できません）

【ライセンス利用規約】

当ライセンスプログラムは、京都大学と日本マイクロソフト株式会社との間で締結された包括ライセンス契約に基づき、個々の利用者は京大生協へ利用代金を支払います。利用者は不正に使用されないための管理を行う義務があります。また、購入したライセンスの使用期間を超えて使用することはできません。許諾されたユーザー以外のライセンスの使用を禁じます。当該ライセンスの使用者が京都大学に在籍されなくなった場合は、ライセンスを使用することができません。遅滞なく生協へ通知してください。

店舗使用欄

受付日	受付店舗	受付担当者	登録処理日	登録担当者	管理番号
					3M -

【使用許諾事項】

製品使用上の許諾事項について、主旨をご理解いただいたことを示すため□欄にチェックをつけてください。

サブスクリプション商品

使用期間に応じて費用を負担するサブスクリプション商品です。

常に最新のバージョンが使用できます。使用期間は任意に1年～4年(および単年度版)を選択できます。利用開始日は任意の日付を選択可能です。使用期間の満了時、継続して使用するためには更新手続きが必要です。

更新手続きを行わず、使用を終了する場合は、必ずHDDからアンインストールしてください。

単年度版について

科研費等、製品使用期間が年度をまたぐ場合の執行が困難な費用で購入する場合、その対策として、いつ購入しても年度末(3月31日)で使用期限が到来する製品です。

ユーザーライセンス

Office365は厳然たるユーザーライセンスとして運用してください。原則として共用デバイスではご利用いただけません。1アカウントで5台のPC、タブレット、デバイスに導入することが実現する一方、同じアカウントを複数のユーザーで使用することはできません。

1台の端末を複数のユーザーで使用する場合のOfficeライセンスについては、オンプレミス版(Office Professional Plus、Office Standard等)を推奨します。

<類例>

- ・ 所有するデスクトップPC、ノートPCのほか、タブレット端末、スマートフォンにもインストール可能です。
- ・ 共用PCを2名のユーザーで使用する場合は、オンプレミス版のライセンスを導入するか、2つのOffice365を導入し、アカウントを切り替えて使用することも可能です。

Office365サービス更新に関する注意点および免責事項

サブスクリプション満了に伴い、更新の手続きを行わない場合、アカウントは抹消されます。OneDriveに保存されるデータも抹消されますので、重要なデータについては必ず別の保管場所へ移設する等の措置を講じてください。抹消されたデータに対する保全について、生協では責任を追うことはできません。

連絡先変更に伴う通知義務

上記更新通知はメールで行います。更新実務を担当するライセンス管理者と、ライセンス使用者に対して通知を行います。メールアドレスの変更等があった場合は、遅滞なく生協までお知らせください。メールアドレスの変更は、生協ソフトウェアダウンロードサイトからも手続き可能です。

ユーザーライセンス使用許諾違反に対する負担について

Office365ProPlusは、使用者が特定されるユーザーライセンスです。許諾されたユーザー以外の使用が恒常的に認められる場合、インストール対象の端末毎に1アカウント相当の費用を負担いただきます。

<類例>

- ・ ライセンスの使用者Aのアカウントを、使用者BのPCにもインストール、研究室の共用端末にもインストールし、研究室所属の複数のユーザーが使用した場合、使用者BのPCおよび共有端末に対する2アカウントを負担しなくてはなりません。

署名欄

(PDFでご提出いただける場合は入力で問題ありません)